

長浜市 地震ハザードマップ

地震ハザードマップとは、想定される地震による震度(揺れの程度)を示したマップです。滋賀県の被害想定に基づいて作成しています。

長浜市にとって防災上特に考慮すべき想定地震

長浜市周辺の活断層及び南海トラフによる地震の中でも、長浜市にとって特に考慮すべき地震は、最大被害をもたらす可能性がある「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯による地震」と、県内防災力のみで対応すべき状況に陥る可能性がある「南海トラフ巨大地震」です。

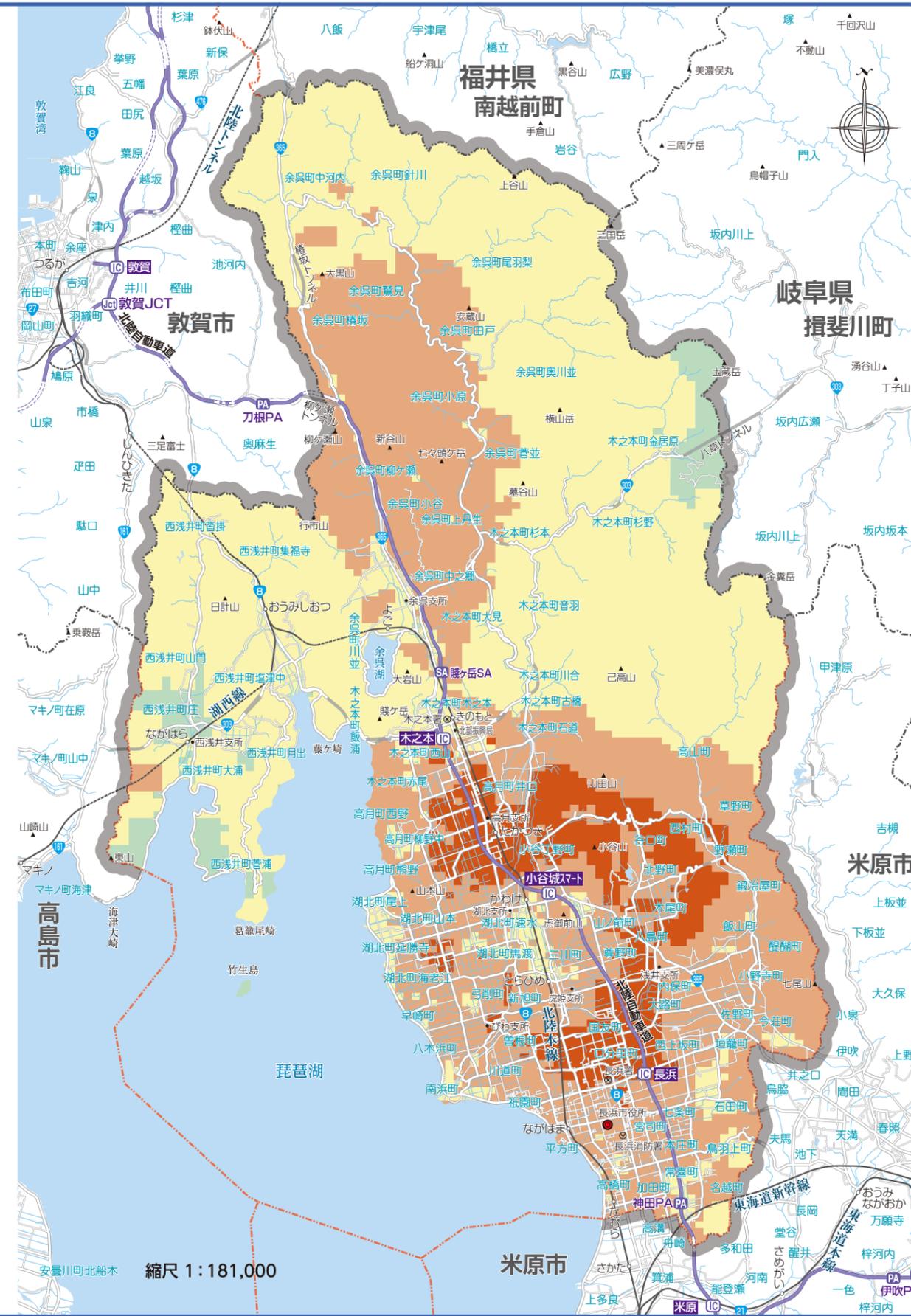
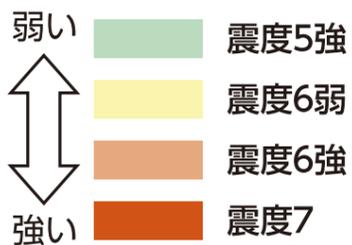
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震

《柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯の概要》
福井県福井市鮎川から越前岬沖の若狭湾東縁を通り、長浜市(旧木之本町)を経て、岐阜県垂井町に至る「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯」主部と、福井県敦賀市の立石岬付近から敦賀湾を横切り、長浜市(旧余呉町)に至る「浦底-柳ヶ瀬山断層帯」からなっています。

南海トラフ巨大地震

《南海トラフの概要》
日本列島が位置する大陸のプレートの下に、海洋プレートのフィリピン海プレートが南側から年間数cmの割合で沈み込んでいる場所で、この沈み込みに伴い、2つのプレートの境界にはひずみが蓄積されています。過去1400年間を見ると、南海トラフでは約100~200年の間隔で蓄積されたひずみを解放する大地震が発生しています。

推定震度分布



●震度分布図 想定内容/各地点において、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震及び南海トラフ地震の震度分布から被害の大きい方を採用しています。